

「機械学習を用いてペースメーカー測定値から心不全を予測する研究」 の実施

研究の目的と意義	本研究は、香取おみがわ医療センターで実施されたペースメーカー外来点検時に取得した計測データと臨床情報を解析し、心不全による入院リスクを予測する機械学習モデルを構築することを目的とします。
研究の方法	当医療センターで診療のためペースメーカー点検を受けた患者さんのデータを診療記録及び施行記録から取得します。
研究対象者	Abbott社製ペースメーカーを植込み、2025年12月までに当医療センターで外来点検を受けた患者さん
利用する試料・情報	心房・心室閾値、心房・心室波高値、心房・心室リードインピーダンス、AMS 動作状況、AT/Af バーデン、AVdelay、心房・心室ペーシング率、心房・心室センシング率等入院記録、心エコー所見 (LVH、LVdD、EF 等)、胸部X線、血液生化学検査 (WBC、CRP、BNP 等)
利用する試料・情報の取得方法	通常の診療で得られた診療記録及び施行記録から取得
利用する試料・情報の管理責任者	香取おみがわ医療センター 病院長
研究組織	香取おみがわ医療センター・帝京科学大学 臨床工学コース
試料・情報の院外提供先	帝京科学大学 臨床工学コース
研究結果の公表	研究結果は、生体医工学会シンポジウム及び臨床工学技士会等にて報告を検討しています。公表する際には、研究対象者を識別することができないよう配慮します。
研究参加拒否	情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、2027年3月31日までに下記の問い合わせ先にご連絡ください。
研究責任者	香取おみがわ医療センター 医療支援部臨床工学科 臨床工学技士 近 藤 廉
問い合わせ先	〒289-0332 千葉県香取市南原地新田 438 番地 1 香取おみがわ医療センター 医療支援部臨床工学科 臨床工学技士 近 藤 廉 電話 0478-82-3161 (代表) ※平日午前9時から午後5時までの間をお願いします。